

令和2年4月臨時記者会見

【説明】

〔市立幼稚園、小・中学校の休業を4月17日まで延長〕

市長 3月25日に生駒市立の幼稚園、小中学校を4月6日から再開すると報道発表しました。その後生駒市在住の方1名がコロナウイルスに感染されていると確認されたことと、大阪府や奈良県内でも感染者が増えており、働く人の半分以上が大阪に勤務している本市においては、より一層の対策が必要だと考えたことという2つの状況の変化がありました。それら2つを受けまして、幼稚園、小中学校の再開を心配する声もあり、苦渋中の苦渋の決断ですが、市内の幼稚園、小中学校の休業を4月17日まで延長したいと考えております。それ以降は、また状況を見ながら検討いたします。

休業の延長は、4月17日（金）までですが、休業期間中の取組については、始業式は予定通り幼稚園は4月10日（金）、小・中学校は4月6日（月）に行います。この日は登校頂いて、これまでの子どもたちの様子を聞くとともに、今後どういうふうにご過ごすのかを伝えたいと思います。

入学式、入園式も卒業式と同じように、保護者の参加人数、在校生は参加しないなど、様々な注意を払った上で実施します。幼稚園は4月13日（月）、小学校は10日（金）、北小中学校は9日（木）、中学校は8日（水）になります。

仕事の関係等で、4月6日の始業を待たれていた家庭もあると思いますので、必要なお家庭につきましては、各幼稚園小中学校において子どもの受け入れを行いたいと思っております。あくまでも休校中ですので、先生が何らかの学習支援はしますが、学習指導要領に基づいて授業をするものではなく、給食はありません。

また、子どもの学習状況の確認や次週以降の学習の指導等のため、週1回程度、登校日、登園日を設定します。日をずらしたり、同じ日で設定するにしても、時間をずらすなど配慮して行いたいと思います。

学童保育は、通常通り実施します。ただし、教室でたくさん子どもが密集しないように、引き続き空き教室や多目的室を使いながら行います。

子どもの受け入れについてですが、登校（園）時の対応として、各家庭で生駒市独自のチェック表を使って、検温及び健康観察をして頂きます。体温が37.5℃以上である場合か、咳、喉の痛み、寒気、だるさ等、風邪の症状が2つ以上ある場合は登校を控えてもらいます。その上で、幼稚園、学校では、手洗い・うがいなど衛生上の配慮はきちんとやってもらいます。教室の対応についても、机を離したり、教室を分散したりすることも考えております。その他、こまめに換気をしたり、いわゆる「3密」を避けることも実施していきます。

部活動につきましても、4月17日まで中止し、開始の時期はまた改めてお知らせします。

学校を再開する、しないということにつきましては、非常に難しい判断になりますが、教育委員会、学校の現場、市民の皆さんの意見も聞きながら総合的に判断し、決断したところです。

【質疑応答】

記者 休業を決断された一番の理由は何ですか。

市長 大阪、全国、世界中で感染がこれだけ拡大していて、いつがピークかは分かりませんが、今が非常に危険で勝負どころ・踏ん張りどころだと間違いなく言えるのではないかと思います。学校以外でもリスクがあるのではないかとか、子どもから子どもへの感染はそれ程確認されていないのではないかとかという意見もある中、専門家会議の意見も聞いたり、学校の現場、市民の皆さんのご意見を聞いたりして、総合的な判断をし、感染拡大防止のために、生駒市でもできる限りのことをしようと思いました。学校もギリギリの判断で休業するのだから、これをきっかけにして、市民の皆さんにも感染拡大防止の協力を再度お願いしていきたいと考えています。

記者 必要に応じて園児、児童、生徒を受け入れるということですが、3月3日のときは医療従事者など条件がありましたが、今回は、それはなしですか。

市長 基本的には、条件なしで受け入れる予定です。しかし、学校等へ集まり過ぎると学校再開と変わらないので、そういう状況になれば今後は絞っていくかもしれません。

記者 4月7日から来るには、申し込みは必要ですか。

教育長 事前の申し込みは必要です。窓口は、前は教育委員会でしたが、今回から各学校になります。

記者 学習支援については、積極的に先生が教えるというより、各自自習をし、分からないところを教えるという感じですか。

教育長 授業は行わず、学習プリントや教科書に基づいた教材を渡します。登校日ごとに健康観察や学習の進捗状況も見ていきます。

記者 休校するとカリキュラムが遅れるますが、どう対応されますか。例えば夏休みの期間にするとか考えていますか。

教育長 夏休みを短縮するとか、土曜日や時間を延ばすとか様々な方法は考えられますが、新学期が始まったばかりで、授業実数がどれくらい不足するかがわからない状況ですので、今の段階で決めるのは時期尚早と思っています。

記者 市民へ週末の外出を控えるように呼びかけをするとかは考えていますか。

市長 そこまでは考えていません。不要不急の人込みや感染拡大地域に行かないことなどへの協力をお願いしますが、週末の外出を控えるよう要請することまでは考えていません。

記者 登校日は、始業式の後いつぐらいに設定されますか。また、幼稚園、小中学校の数を教えてください。

教育長 子どもの状況を把握し、休み中課題等を渡すことから、一週間に一回は設定したいと思っています。

担当部長 学校の数ですが、中学校が7、小学校が11、小中一貫校が1で、幼稚園は6園、認定こども園が2園です。

記者 児童数は、わかりますか。

担当部長 後ほどお伝えします。

記者 17日以降の予定は、いつごろに知らせますか。

市長 学校の準備等のことも考えますと、4月15日までには出したいと思っています。

記者 3月30日の県発表の新型コロナウイルスの感染者で、郡山保健所管轄で3人でしたが、その内の一人が生駒市在住ということについて、生駒市からの発表はありましたか。

市長 発表していません。生駒市は保健所設置者ではないので、県が発表することになります。今まで生駒市の感染はゼロでした。今回初めて一人出たことが延期の判断の理由の一つでしたので、生駒市在住者ということをお伝えしました。

記者 保育園、こども園は10日以上登園を自粛したら保育料を返すという制度がありましたが、今回もそれを延長されますか。

市長 同じような取り扱いになると思いますが、詳細は検討していきます。

記者 保育園は通常通りですね。

市長 コロナ対策は実施しますが、通常通り保育します。

記者 各自治体の首長が首都圏などへの外出を控えることを呼びかけていますが、生駒市はどうですか。

市長 3月30日に市のホームページにメッセージを出しています。国の専門家会議でも学校の対策だけでは不十分で、市民のいろんな活動の場も対策が必要であるという見解が示されています。ここが勝負どころということで、学校休業を2週間延ばしますが、子どもたちのことを考えると大変つらい決断をするということなので、市民、市を挙げて感染拡大防止に取り組むというメッセージを出したいと思っています。東京・大阪など感染者が多い地域を避けてもらうことや、歓送迎会などの飲食も、不要不急の場合を除いて控えてもらうよう、お願いしていきたいと思っています。

(了)